

取組事例

朝型の働き方・**所定外労働時間削減**・**年休取得促進**・多様な正社員・テレワーク

企業名： A社	所在地： 千葉県浦安市
社員数： 約40名	業種： 運送業

取組の目的：

人手不足の中、これまで社員の大半を占める運転職に注力して雇用管理改善に取り組んできた。概ねその改善が達成された一方で、事務部門においては、業務量の増大に伴う時間外労働の増加や休日労働が慢性化しており、年休が取りにくい状況となっていたことから、事務部門の立て直しが急務であった。

取組の概要：

<現在の取組>

○トップメッセージ

今回の働き方改革の時間外労働削減や年休5日取得が必要になったという法的義務の履行のみに留めず、さらなる能率的かつ質的な業務改善を図っていくかという点において、チームや個々人の意識変化を促す絶好の機会と捉えたい。

○時間外労働の削減及び年休取得促進に向けた取組

事務部門の組織変更を行い、3名体制の3チーム制を敷き、集中的な教育訓練（OFF-JT、OJT）を通じてチーム毎に事務処理能力の平準化（職務遂行に際して一定の能力を有する）を図った。

<今後の課題・取組>

○本人の希望があり、育児または介護を理由とする営業職に対して、在宅勤務制度導入を検討中である。

現状とこれまでの取組の効果：

- チームの人員を少数としたことでコミュニケーションが円滑になり、互いの業務内外の現状をより把握することで、無理なく計画的な業務遂行や家庭行事などに年休等を取得しやすくなった。
- チームを構成する職員の中でリーダーを決め、毎週月曜のリーダー会議において互いのチームにおける情報交換や経営施策の具体的な対応などを協議することで、迅速かつ効率的な時間の使い方が身についた。
- その結果、突発的な欠勤、本人の希望或いはチーム状況に配慮した計画的な年休の取得、育休の積極的な取得などに対応できる体制を構築することができた。